

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



本格的な台風シーズン到来を前に消防団が水防訓練を実施し、河川増水時の対応を再確認。
(9月8日、杉原川・ゆかり橋)



日ごろのご愛顧に感謝を込め、「野菜の日感謝フェア」を開催。人気の富良野市のスイートコーンも販売。
(8月31日、北はりま旬菜館)



第18回自衛消防競技大会。自衛消防組織の技術や防火意識の向上がねらいで、34の事業所から94人が参加。
(9月10日、日本へそ公園)



播州の技術力が生み出す極細のコットンを使った生地などを展示中（嶋田製織株式会社の製品）。
(10月中旬まで、西脇市役所)

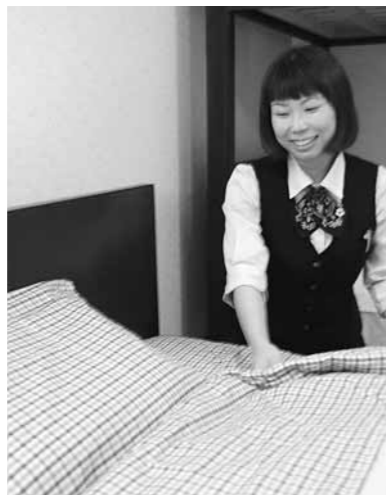
子どもたちの元気いっぱいのステージ

〔8月25日 市民会館大ホール〕



子ども太鼓教室「げんき」のステージ

第42回子ども芸術祭「子どもステージ」に9団体が出演しました。子どもたちは、太鼓やダンス、ベル、バレエ、合唱など日ごろの練習の成果を披露しました。また、子ども美術展には1,354点の応募がありました（審査結果は7ページに掲載）。



オートキャンプ場で使用される播州織の寝具セット

市では、西脇市日本のへそ時計の丘公園オートキャンプ場の宿泊施設に、播州織の寝具セット（掛けシーツ・敷きシーツ・枕カバーの3点）を導入。播州織の自然な風合いや柔らかい肌触りを楽しむことができます。これは、市内外からの宿泊客に地場産業・播州織をPRしようと、市が播州織産元共同組合に生産を委託し実現したものです。

播州織シーツの寝心地は…

〔9月7日 日本へそ時計の丘公園オートキャンプ場〕

100歳の長寿を祝って一慶祝訪問

〔9月4日 楽寿園ほか〕



100歳以上の方は24人。うち市内にお住まいの14人に市長や市議会議員、社会福祉協議会会長らが慶祝訪問。

敬老の日を前に、市内にお住まいの100歳以上の長寿者14人を慶祝訪問。花束や記念品を贈呈し長寿をお祝いしました。楽寿園では日野保育園の6人の園児が歌をプレゼント。「おばあちゃん、いつまでも元気できてね」とメッセージを送りました。



上) 市内20学校園で提供された給食。
左) 黒田庄和牛の給食をおいしそうに食べる西脇小1年生の児童。

市では、新しい学校給食センターの竣工を祝うメニューとして、地元特産品「黒田庄和牛」を使用した給食を提供しました。
これは、安全安心な地元産食材を通して子どもたちに食の大切さを知ってもらい、地域内で生産された農畜産物の地域内での消費率向上を目指す、「地産地消推進事業」の一環として実現したものです。
この給食で使用した黒田庄和牛は250kg。肉の風味を味わってもらうため、味付けは塩・コショウでシンプルに。黒田庄和牛が給食で出るのは平成20年1月の「すき焼き」以来5年ぶりとなつて、子どもたちは大喜びでした。
新学校給食センターは、老朽化した施設の改築、作業効率の改善などの観点から2つあった旧センターを統合し2学期から稼働。市内の幼小・中20校園に1日あたり約4200食の給食を提供しています。

黒田庄和牛が学校給食に登場

〔9月4日 市内幼稚園・小学校・中学校〕

黒中生がトータス松本さんと共演

〔8月31日 播磨中央公園〕



トータス松本さんとは4年連続の共演。吹奏楽部の演奏でトータス松本さんが黒田庄中学校校歌を歌うことが恒例となっている。

西脇市出身のミュージシャンで、黒田庄中学校OBのトータス松本さんのふるさと凱旋ライブがあり、黒田庄中学校吹奏楽部の生徒が先輩との共演を果たしました。トータス松本さんが吹奏楽部の演奏で校歌を歌い上げた後、「年々、演奏がうまくなっている」とたたえようと会場は大きな拍手に包まれました。



「岡山県中心標」に各市町村の木を記念植樹。西脇市は、来住壽一市長が市の木「さくら」を植樹。

へそのまちが岡山のまんなか集結

〔8月31日 岡山県吉備中央町〕

全国の「へそ」を主張する8市町村で構成される「全国へそのまち協議会」総会が、「岡山のまんなか」岡山県吉備中央町で開催されました。
総会では、有害鳥獣対策の意見交換などを行ったほか、同町内の「岡山県中心標」で8市町村の木の記念植樹があり、西脇市も「さくら」を植樹し、加盟市町村間の絆を再確認しました。

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！